Ⅰ　実践

1　研究主題

人権を尊重しようとする人間性豊かな生徒を育成する人権教育の在り方

-総合的な学習の時間，特別活動を通した心豊かな生徒の育成を目指して-

（1）主題設定の理由

本校は，「自ら感じ,自ら考え,実践するたくましく思いやりのある生徒の育成」を教育目標に掲げ，「自ら感じ，考え,実践し，共に高め合う生徒」,「正義感と自他を大切にする心をもち相手の立場を理解できる生徒」,「自立した生活習慣を身に付け，身体を鍛えたくましい心と体をもつ生徒」を目指す生徒像としている。

本校は，全校生徒 86 名の小規模校であり，生徒同士の関わりが密である。反面，不用意な発言や態度がもとで，相手が傷つき孤立しがちになり，人権を意識しない事例も見られる。これは，人権とは何かを考える機会が少なく，相手を思いやりお互いを尊重する態度が育っていないことに起因している。本校の生徒の実態からも，共感的な理解を基盤とする生徒の育成が不可欠であり，「相手の身になって考え，相手のよさを見つける」,「お互いに協力し合って自分の力を地域社会や学年学級に役立てようとする」,「学校・学年・学級が一人一人の生徒にとって存在感を実感できる」ことが重要である。そこで，本校の実態をもとにお互いの人権を尊重し合う学校づくりを進めるために本主題を設定した。

（2）研究のねらい

各教科，特別の教科　道徳，総合的な学習の時間，特別活動等の教育活動全体を通して，人権教育の充実を図り，人権尊重の精神の育成を目指す。

（3）研究内容

ア　学校行事やボランティア活動，福祉体験等の体験活動を通して人権尊重の精神を育ませる。

イ　人権感覚や人権意識を育み，一人一人を大切にした学級経営を行う。

ウ　差別，偏見などの人権に関する実態調査を実施し，生徒への指導・援助を行う。

2　実践内容

（1）基底的指導における実践

ア　生徒会を中心に生活委員会や JRC 委員会による「あいさつ運動」や「さわやかマナーアップ運動」を１年間通して行った。特定の人だけでなく，誰にでも明るく元気にあいさつできるように朝の登校時間を中心に取り組んだ。

イ　差別や偏見に対する実態把握，生活アンケート調査やＱ－Ｕテストの分析・活用を行った。

ウ　人権作文や人権書道コンクール等に応募し，人権について考える機会とした。

（2）総合的な学習の時間における実践

本校の総合的な学習の時間のテーマは,「キャリア教育」である。キャリア教育の内容の中で人権教育と結びついた内容もいくつか実践している。各学年の発達段階や生徒の実態を考慮するとともに，３年間を見通した活動内容を決めている。

ア　エコサイクル（平沢学区内の再生資源の回収活動）

（ア）目的　地域での回収活動を通して，働くことの意義について考えさせ，奉仕の心や他の人と協力し合う態度を育てる。

（イ）内容　各部活動での回収活動(新聞紙，雑誌，段ボール，アルミ缶等）や積み込み等

・　６月１日(土)　　９：30～10：30　＜全学年＞

・ 12 月７日(土)　　９：30～10：30　＜１．２学年＞

（ウ）活動の様子

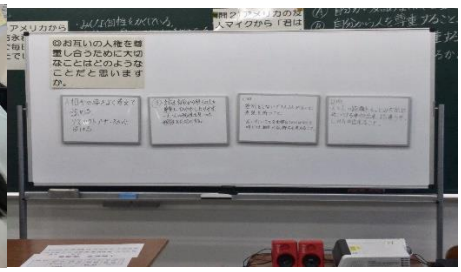
エコサイクルでは，生徒会と JRC 委員会の計画のもと，各部活動による地域からの回収活動を通して，お互いに協力し合いながら大量の新聞紙等の再生資源の回収活動に取り組むことができた。また，地域の人から回収活動中に「ご苦労様」と声をかけられるなど働くことの大切さに気付き，奉仕する心や協力し合う態度を育てることができた。

イ　人権教室　＜１学年＞

（ア）目的　人権尊重の社会をつくっていくために，個性を認め合うことの大切さを考え，心豊かな生徒の育成を図る。

（イ）内容　人権擁護委員，水戸地方法務局人権擁護課職員の先生の助言をいただきながら「リスペクト・アザース」を鑑賞し，その内容をもとに話し合いを行う。

（ウ）活動の様子



（３）仲町交流センターと連携したボランティア活動の実践

ア　仲町交流センターと連携した仲町学区ボランティア活動　＜全学年＞

（ア）目的　積極的に福祉体験的な活動に取り組むことで，心豊かな生徒の育成を図る。

（イ）内容

・５月 11 日(土) ９：00～10：30 除草作業①　・７月 13 日(土) ９：00～10：30 除草作業②
・７月 28 日(日) ９：00～14：00 仲町子ども祭り　・８月３日(土)14：30～16：30 仲町学区夏祭り
・８月　６日(金) ９：00～12：00 高齢者と触れ合う会・９月 14 日(土)10：00～12：00 敬老会
・10 月 12 日(土) ９：00～10：30 除草作業③　・10 月 19 日(土) ９：00～11：30 秋の防災訓練
・11 月 16 日(土) ９：00～10：30 除草作業④　・11 月４日(日) ９：00～14：30 仲町学区文化祭

（ウ）活動の様子

仲町交流センターと連携した仲町学区ボランティア活動に参加し，様々なボランティア活動に取り組むことができた。学区ボランティア活動を通して，奉仕する心や協力し合う態度が育まれた。

３　成果

地域のお年寄りとのふれあい活動では，うどん会食やレクリエーションなどをとおして，お年寄りと交流を深めることができ，涙ぐむお年寄りの姿も見られた。言葉だけでなく，体験をすることにより，より実感を深めることができ，人権尊重の精神を高めることができた。

Ⅱ　今後の課題

本校は小規模校であり，体験的な活動を実施しやすいという特徴がある。この特色を生かすために，人権尊重の精神を高めることができるような体験的な活動の洗い出しを行い，総合的な学習の時間等で積極的に，かつ計画的に実施していきたい。

生徒に人権感覚を身に付け，人権意識をはぐくむ人権教育の推進を図るために，今後も教育活動全体を通して，人権教育の充実に向け継続的に取り組んでいきたい。